

毎年3年生は、創立記念日の近くに植樹を行っています。先日75回生の植樹を行いました。本来であれば3年生全員が植樹をしている場に立ち会いますが、コロナ禍なので縮小して行いました。

本学での植樹の歴史は長く、第1回の創立記念日から続いています。初期には1000株を超える苗を植えたそうです。植樹は緑を大切にするという本学の伝統の1つです。西生田では戦前、創立記念日を中心にそれぞれ100本を超える桜と楓の若木が植えられました。

今年植えた木は紫陽花のアナベルです。アナベルにはピンクや白の花が咲くと言われています。ピンクのアナベルの花言葉は「寛容な女性」です。75回生は他人の意見を理解したり他人の失敗を許したりすることが得意な学年だと思います。また寛容さはこれから社会に出ていく私たちにとってますます大切な力であると思います。これからも人と出会うことがたくさんあるでしょう。寛容さがあれば自分と考えが違うからといって対立する事はなく、お互いを思い合っていくことができるでしょう。ピンクのアナベルはこれからの私たちの理想像であるといえるでしょう。

一方で白のアナベルの花言葉は「ひたむきな愛」です。ひたむきな愛は三綱領の1つである共同奉仕につながっていると思います。私たちは誰かと協力して行動するという、共同奉仕を日々行っています。私は毎日、本来その人の役割ではないのに、ボランティアとして学芸部の終礼の手伝いや清掃の手伝いなどを行っている人を見かけます。私の見えないところでもたくさんの人の共同奉仕が行われていると思います。まさに白のアナベルは私たちを象徴する花といえるでしょう。

どちらの色になっても、私たちの理想であり象徴する花です。アナベルのように美しい花を私たち一人一人で咲かせていきましょう。

生活部総責任者